

# 冠婚葬祭の基本 -葬I・突然の時、後悔しない為に-



## 危篤～葬式の主な流れ

葬式は宗派・地方・地域等によって変わりますが、葬式の流れは以下になります。

- 1. 危篤・臨終時の連絡 ..... 10p
- ▼
- 2. 遺体処置・搬送・安置・納棺 ..... 10p
- ▼
- 3. 通夜準備・葬儀準備 ..... 11p
- ▼
- 4. 通夜 ..... 11p
- ▼
- 5. 葬儀・告別式 ..... 12p
- ▼
- 6. 火葬・拾骨 ..... 12p
- ▼
- 7. 還骨法要・精進落とし ..... 12p
- ◎葬儀費用について ..... 13p
- ◎葬儀社の選び方 ..... 14p

※地域によって順番や内容の違いがあります。

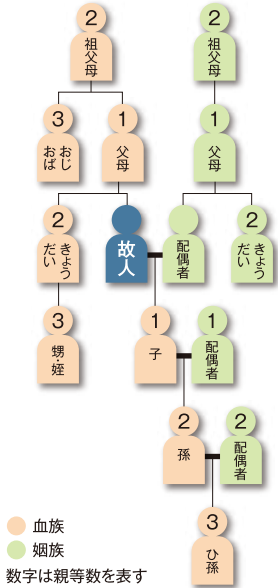
おおよその流れ・内容として参考下さい

※葬式は短期間にやらねばならない事が想像以上に多い為、事前の知識・業者選別の準備等行っている事が、葬式の善し悪しを大きく左右します

高齢の親、介護病氣入院：自ずと視野に入ってくる「もしもの時」の事。  
「何をどうしたらいいのか全く解らない」  
「ばたばたで全て決めざるを得ず、納得のいかない葬式だった」  
「葬式がこんなにお金が掛かるとは知らなかった」等、  
周りから聞くのは「葬式に対する不満」の方が圧倒的でした。  
親が元気な時に葬式の事何で、縁起でもない。  
と思いがちですが、それは「必ず」訪れ、「突然」であり、「やり直し」ができません。  
心に残り、納得の行く葬式を行うには、事前知識と準備は必須です。  
今回は「葬式の9割が仏式」との事なので、「仏式の葬式」について、  
大まかな流れと事柄を二部抜粋して紹介しています。  
又、「家族葬」を始めとする様々な葬式が増えていますが、今回はあえて触れていません。  
まずは従来の葬式を知った上で、新たな葬式を紹介する方が良いでしょう。  
今回葬式について多々調べる中で思いました。  
「新しい葬式」の様々については、次号より順に紹介して行きます。  
この特集であなたが葬式を知り、少しでも考えるきっかけになれば……。  
冠婚葬祭の基本～葬、スタートです！

危篤の連絡

- ◎ 看取つて欲しいと思う人達へ速やかに。連絡手段は電話が一般的
- ◎ 急を要するので深夜や早朝はやむを得ない。但し「高齢者妊婦・遠方に住む人」には配慮を
- ◎ 近親者(本人から3親等)・特に親しい友人・知人に連絡
- ① 連絡者の氏名 ↓ ② 続柄 ↓ ③ 危篤者の氏名 ↓ ④ 病名 ↓ ⑤ 症状 ↓ ⑥ 病院の所在地を連絡する



臨終の連絡

- 親戚や友人等と手分けし、必要な事をまとめて以下に連絡をする
- ◎ 近しい親族・友人には速やかに
- ◎ 親族・菩提寺・僧侶・勤務先(学校)・自治会等
- ◎ それ以外の関係者には通夜・告別式の日程が決まってから

連絡方法

- ◎ 電話・電報が一般的。記録が残る確認しやすい
- ◎ ファクス・メールも増えている
- ◎ 仕事関係等へはその代表者へ連絡し、手分けして各方面へ以下を通知して貰う
- ① 連絡者の氏名 ↓ ② 続柄 ↓ ③ 故人の氏名 ↓ ④ 臨終の日時 ↓ ⑤ 病名 ↓ ⑥ 通夜・告別式の日時 ↓ ⑦ 場所 ↓ ⑧ 宗派を連絡する

アドバイス

故人名義の預貯金から支払う場合、費用の引き出しは「死亡届」を出す前に引き出す。「死亡届」により死亡が確認されると凍結される為

遺体の搬送

- ◎ 医師から「死亡診断書」を作成してもらう
- ◎ 霊安室は半日が限度なので、なるべく早く手配する
- ◎ 搬送には「死亡診断書」が必要。搬送の際は棺に移さず、寝台車や担架で
- ◎ 遺体は通夜を行う場所へ(自宅・斎場・集会所・寺院等)

アドバイス

- ◎ 自宅等で、医師の立ち会いなく死亡した場合は遺体には触れず、すぐに医師(何科の医師でも良い)に連絡して死亡確認する。医師が見つかからない場合、警察へ連絡して警察医による死亡確認も出来る
- ◎ 遺体の引取時に医師から渡される「死亡診断書」は、生命保険の申請や相続にも必要な為、「コピー」を数枚取っておく
- ◎ 遺体を暖かさせたまま搬送可能であれば、自家用車でも良い(その際必ず「死亡診断書」を携帯)
- ◎ 搬送のみ行ってくれる業者もあるので、そこに依頼するのも良い
- ◎ 葬儀社が決まっていれば、病院の提携葬儀社に「遺体の搬送のみ」依頼する事も可能
- ◎ 法律で24時間以内の火葬は禁止(心臓周りの細胞が完全に死ぬのは24時間掛かる為)
- ◎ 自宅がマンション等で運び入れが困難な場合、業者が決まっていれば要相談
- ◎ 遺体搬送料は「葬儀一式」とは別料金として請求される為、注意

枕飾り

死者の成仏を願う為に設置する。神棚がある家庭では、神棚封じを行う(葬儀社が決まっていれば、準備してくれる)

遺体の処置

- ▼ 末期(まっこ)の水を取る  
割り箸の先に脱脂綿やガーゼを巻いた物や新しい筆に水を含ませ、唇を軽くなぞって湿らせる
- ▼ 遺体の清拭(せいしき)  
昔は「湯灌(ゆかん)」と言って故人の体をお湯で清めていたが、現在は病院でアルコールを用いガーゼや脱脂綿で遺体を拭く清拭が一般的。清拭の後には体から汚物が出ない様に耳鼻・口・肛門等に脱脂綿を詰める
- ▼ 着替える  
死装束(新しい浴衣・寝巻き等)・好んでいた衣服を着させるので清拭・湯灌等、衛生処置の前に用意しておく
- ▼ 死亡粧をする  
遺族の手で髪を整え、手足の爪を切る。男性なら髭を剃り、女性なら薄く化粧をする。眼や口を閉じて、胸で手を合掌させる

納棺

棺に入れる。この時、故人の愛用品等も入れる。但し、燃やすと有害物質を発生するプラスチックや燃えないガラス・貴金属等は避ける

棺の種類は、檜・桐・合板素材・布張り等がある  
(目安) ベニヤ合板製 ……3万円程度～  
ヒノキ無垢材 ……100万円以上

葬式の打ち合わせ

葬式の中で最も忙しいと言っても過言ではない葬式の打ち合わせ。親族・僧侶・葬儀社等様々な人と密に打ち合わせをする必要がある。以下にそれぞれ幾つか具体的内容を挙げてはいるが、ほんの一部。

- ① 家族・親族の打ち合わせ
  - ◎ 通夜・葬式・火葬の日程・会場の決定
  - ◎ 葬式の形式・規模・予算
  - ◎ 故人意思の確認
  - ◎ 宗教の確認
  - ◎ 喪主決定
  - ◎ 葬儀社の決定 ……等々
- ② 僧侶との打ち合わせ
  - ◎ 葬式日程と場所の決定
  - ◎ 戒名の依頼
  - ◎ 初七日を行うか、戒名をするのかを相談
  - ◎ 通夜での法話有無、通夜ぶるまの出欠等を確認
  - ◎ お布施の相談(葬儀社に目安を聞くのもよい)
  - ◎ 葬儀告別式の取り仕切り、火葬前後の儀式等 ……等々
- ③ 葬儀社との打ち合わせ
  - ◎ 見積依頼、確認
  - ◎ 葬式内容の確認
  - ◎ 役所・火葬場の手続き
  - ◎ 葬式の手配 ……等々

アドバイス

- ◎ 遺族側の基本方針をはっきりとまとめておく
- ◎ 葬儀社との打ち合わせは行き違いを防ぐ為、第三者に立ち会って貰う
- ◎ 予算を含め、単刀直入に
- ◎ 急遽追加したオプションで大きく料金が変わる事がある為、予算額ははっきりと伝えておく

通夜・葬儀・告別式のスケジュール

▼ 最短日程

1日目	(午前) 死亡 (午後) 通夜
2日目	(午前) 葬儀・告別式 (午後) 火葬

▼ 一般的な日程

1日目	(午前) 死亡 (午後) 仮通夜
2日目	(午後) 通夜
3日目	(午前) 葬儀・告別式 (午後) 火葬

アドバイス

- ◎ 火葬場は友引・祝日・正月三日が休み
- ◎ 家族・親族で希望の日程を話し合っておく

故人と夜通し過ごし、最後の別れを惜しむのが通夜。枕飾り設置後は、遺族が交代でロウソクの火と線香を絶やさない様にする。

通夜の流れ

- ▼ 通夜の流れ  
入場 → 読経 → 焼香 → 法話 → 喪主の挨拶 → 通夜ぶるまい
- ◎ 通夜の1時間前に僧侶に来てもらう
- ◎ 僧侶に祭壇の飾りや供物の置き方を確認
- ◎ 着替えが出来る控へ案内
- ◎ 茶菓を出し、世話人を紹介
- ◎ 通夜開始前に位牌に戒名を書いてもらう(位牌・筆は葬儀社が準備)
- ◎ 火葬・読経時間・通夜ぶるまの参加有無等を確認

通夜ぶるまい

通夜の弔問客に出す食事を「通夜ぶるまい」と言う。通夜の後、弔問客へ軽い食事を用意し、感謝の気持ちを示す。故人の思い出を語り合って供養する。

- ◎ オードブル・サンドイッチ・寿司等、手軽に食べられる物を用意する。「清めのお酒」等の飲み物は弔問客に行き渡る様、用意する
- ◎ 通夜ぶるまいを省略する場合、喪主からの挨拶として会場の都合等という説明はしない
- ◎ 葬儀・告別式の打ち合わせと準備を通夜の後に喪主・世話人と行う。相談事項も事前にまとめておく

アドバイス

宗教によって注意点があるので、葬儀社に事前に相談する



## 葬儀・告別式

本来「葬儀」と「告別式」は異なる儀式だが、現在はほぼ一体化している。例えば葬式に参列した際、僧侶の読経の後、遺族・親族が焼香をする。厳密には「迄が葬儀であり、その後の一般参列者の焼香から告別式となる。

### 葬儀・告別式を同時に行う場合

#### ▼葬儀

喪主・遺族・参列者入場→僧侶入場→葬式の開式の辞(進行係)→僧侶の読経・引導・死者を現生から悟りを開かせる仏法を説く→弔辞朗読(2〜3名)→祭壇に供える→弔電披露(進行係)が2〜3通代読。他は氏名・社名・役職等。祭壇に供える→焼香(僧侶の指示で喪主から)→葬儀の閉会の辞(告別式が続く事の案内)

#### ▼告別式

告別式の開式の辞→僧侶の読経→一般弔問客の焼香→僧侶退場→告別式の閉会の辞

◎喪主に代わり、数名の世話役等が実務面の協力をする

◎世話役代表は式の運営を取り仕切る。喪家との繋がりが深い経験豊富な人が適任

#### アドバイス

葬儀・告別式の弔辞は故人が親しくしていた人へ依頼する

#### 葬式と葬儀と告別式の違い

〔葬式〕 葬儀と告別式がまとまった物

〔葬儀〕 故人の霊魂を鎮め、成仏して貰う物

〔告別式〕 故人と交流のあった人達が集まり、故人に別れを告げる式典

#### 出棺

告別式終了後、お別れの儀(最後の対面)と出棺(霊柩車へ運び入れる)

## 葬儀にかかる費用

### ① 葬儀社

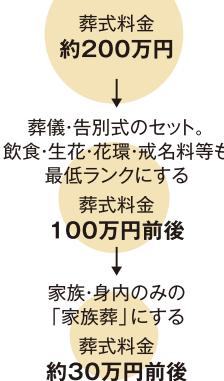
「葬儀一式+オプション」が基本。葬式は葬儀社の提示する「葬儀一式」だけでは行えない。

又、「葬儀一式」としても葬儀社によってその内容と料金は異なる。「葬儀一式」の内容や金額が業界で統一されていない為、見積を取る際又は比較をする際は、各社の内容項目を統一せねば意味がないので注意が必要。

基本的に「葬儀一式」は祭壇を中心とした「葬式の施行関連費」が主となっている。遺体搬送費や火葬代も「葬儀一式」に入らない別途料金となる。この他にも多々ある為、念入りに確認が必要

葬式で掛かる費用は、大別すると「①葬儀社、②菩提寺・僧侶、③飲食接待費、④心付けその他の費用」以上4項目を合わせた金額となる。

### こうすれば葬式費用が抑えられる(一例)



### ② 僧侶

仏式の弔事では、僧侶が儀式を取り仕切る。その役目のお礼として「御布施(おふせ)」を渡す

### ▼御布施の内訳

〔読経料〕最も位の高い僧侶を一人分とし、補助役はその半額。補助の人数分上乘せし、キリのよい金額に。御布施は一括して最も位の高い僧侶に渡す。金額の目安を知る為に、読経する僧侶の人数を事前に確認する必要がある

## 火葬・遺骨拾骨

### 火葬

遺族や親族、親しい友人が火葬場へ。喪主は必ず火葬許可書を確認。(火葬許可書は葬儀社が火葬場の管理事務所へ提出する)ここで本場に最後の対面となる。

### 遺骨拾骨

火葬後、2人1組で長い箸で骨を拾う「骨上げ(拾骨)の儀式」を行う。儀式は2人1組。長い箸で、二つの骨片を一緒に拾い上げ、骨壺に収める。

## 環骨法要・精進落とし

### お清め

◎火葬場から戻ったら、家に入る前に柄杓(ひしゃく)で両手に水を掛けて貰う

◎胸と背中に塩を二ふりして清める(浄土宗はこれをしてない。他宗教でもしない傾向にある)

### 環骨法要

◎拾骨後、遺骨は自宅に戻されて四十九日の忌明け迄納骨せず、自宅に安置する(四十九日、一周忌等の法要に合わせて、納骨を行う)

◎後飾りの祭壇に遺骨と位牌、遺影を安置し、僧侶に供養の読経をして貰う

### 精進落とし

葬式・告別式でお世話になった人達を酒肴でもてなす。喪主は挨拶をし、遺族は各席を接待する

#### アドバイス

◎精進落としを行わない場合は料理の折詰と酒一本等を用意する

◎僧侶が精進落としを辞退した場合は「御膳料」を「御車代」とは別に5千〜1万円程度包む

**戒名(仏名)**  
仏式の葬式の時に僧侶から故人につけられる。死後すぐに依頼し、納棺又は遅くとも通夜迄に。

### 戒名のクラス

戒名	形式	かつての階級
院殿	〇〇院殿〇〇大居士(清大姉)	寺を建立出来る権力や実力を持つ大名等
院	〇〇院〇〇居士(大姉)	武士やその妻等 現在は菩提寺や社会への貢献度が高い人
信士(しんじ) 信女(しんにょ)	庶民階級につけられていた 〇〇信士(信女)	現在最も一般的
童子	〇〇童子(童女)	15歳位迄の子供
孩子(がいし)	〇〇孩子(孩女)	幼児
嬰兒(えいじ)	〇〇嬰兒(嬰女)	乳児

※死産の時の戒名は水子(すいじ)を使用。寺院で供養をし、葬式は出さない ※〈 〉内は女性

### 戒名の金額について

福岡の場合、戒名代は20~50万円位が相場の様だが、選択する戒名・菩提寺・及び各地域によっても大きく変わる

### 葬式費用の内訳

費用項目	支払先	内訳
葬儀一式	葬儀社	祭壇料(祭壇設営費)・棺・枕飾り・線香・ローソク・位牌・花代・納棺・祭壇用供物・線香設備・後飾り壇・各種案内板・受付事務用品等 ※葬儀社により内容が変わる為、内容の確認が必要
立替金他	各業者・葬儀社	遺体搬送料・火葬料・火葬場及び控え室使用料・タクシー等乗り物代
式場費用	斎場等	式場使用料等
飲食費	料理屋	通夜ぶるまい・精進落とし等
御布施	寺院	読経料・お車代・戒名料等
その他		親類のお車・宿泊代・心づけ等

### 〔戒名料(仏式)〕

〔御膳料〕通夜ぶるまい・精進落としを辞退した時はその都度必要

〔御車代〕通夜等をする都度必要。僧侶が車で来る場合は駐車場の確保、そうでない場合、タクシーの迎えを手配するか、自家用車で迎えに行く。いずれの場合も御車代1万円程度は必要

御布施の金額については特に決まりがない為、葬儀社に目安を相談するのも良い

### ③ 飲食接待費

通夜ぶるまいや精進落とし等の飲食費。葬式を行った斎場に寿司等の仕出しを頼んで行われる事

### ④ 心付け・その他

が多い。弔問客の数によって費用が大きく変わる為、予期せぬ出費とならぬ様、事前に人数をしつかり把握する必要がある

〔心づけ〕世話役・霊柩車・送迎車の運転手・火葬場の係・通夜ぶるまいの配膳係等、お手伝いをしてくれた人への感謝の気持ちを金品に変えて渡す。2〜3千円が一般的。心づけは予め多めに用意しておく事。誰に渡したらいいか解らない時は葬儀社に相談を。

その他には「遠方からの僧侶世話役親族等の交通費・宿泊費」等



葬儀の善し悪しを左右する  
葬儀社選びと依頼のタイミング

葬式には葬儀社のサポートが必要不可欠。よい葬式が営める様、しっかりと業者選びを行わなければならない。  
その為に、出来れば生前、元気な時から複数の葬儀社より見積りを取り、じっくり比較検討してから選ぶのがベスト。

▼葬儀社を調べてない場合

◎遅くとも危篤の段階迄に複数の葬儀社に問い合わせをし、必ず「同内容項目」での見積りを取って比較

◎「サービス内容費用見積り葬式告別式会場の立地」で検討

▼葬儀社は、以下の点をみて選ぶ

- ◎初めての電話や訪問時に好印象であるか
- ◎誠実な応対で、質問にも解りやすく説明してくれるか
- ◎こちらの無防備に付け込まず、誠実な態度であるか
- ◎利用者の立場に立っているか
- ◎葬式全体の費用を提示した上で、個々の内容詳細を具体的に提示してくれるか
- ◎こちらの要望に出来る限り対応してくれるか

◎葬儀社の評判はどうか

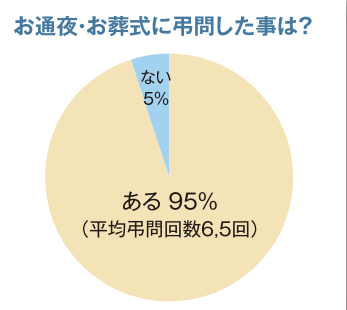
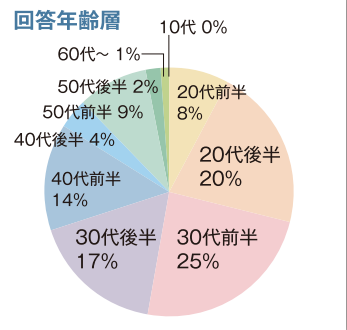
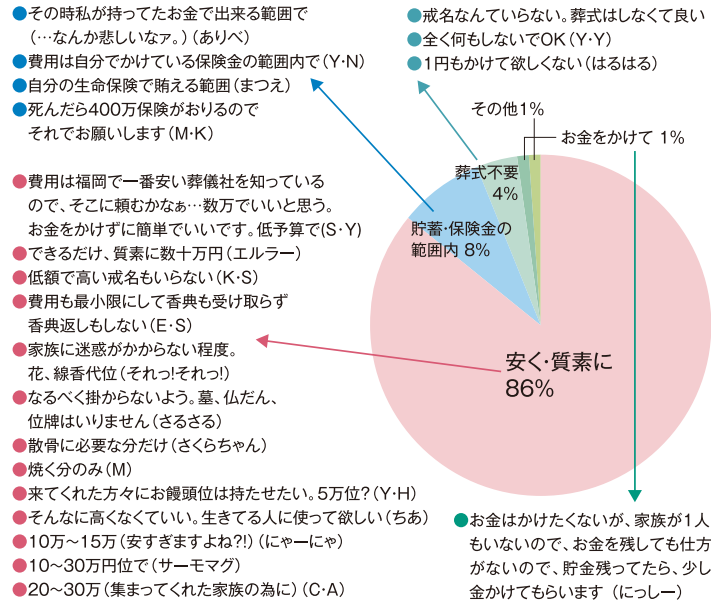
◎大病院の場合、提携の葬儀社が常駐しているが

◎葬儀社が決まっていな場合、「遺体の搬送のみ」を病院提携している葬儀社に依頼し、葬式告別式は改めて選別、依頼も出来る

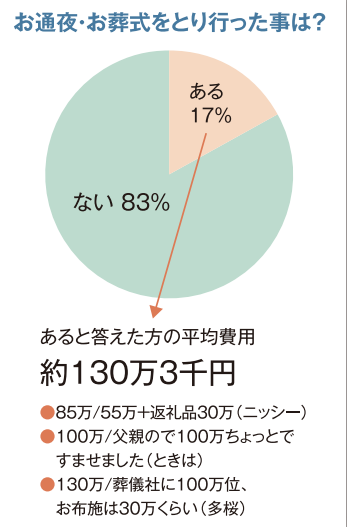
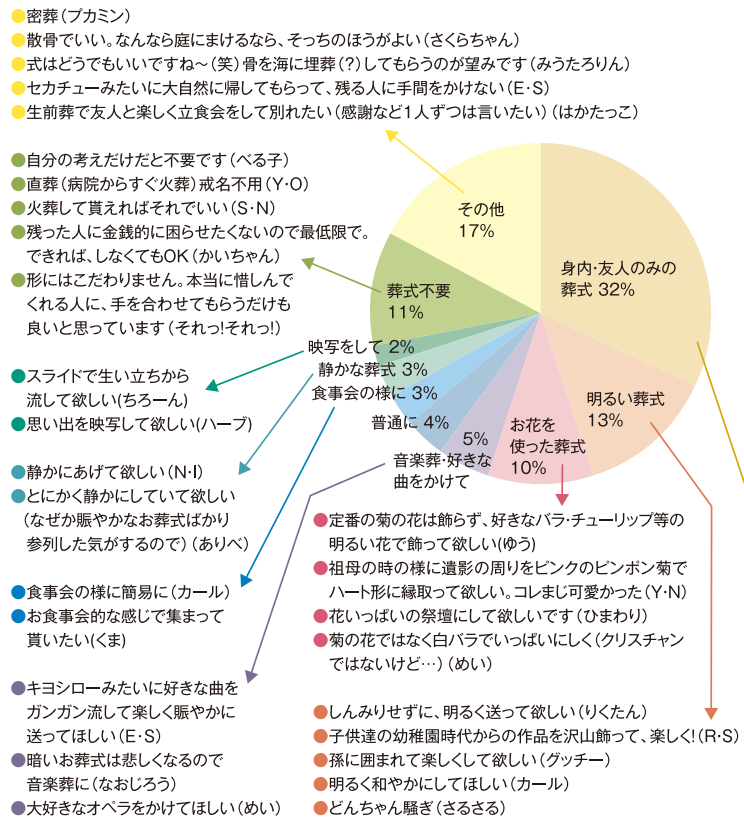
▼病院出入り業者について

◎大病院の場合、提携の葬儀社が常駐しているが

もしあなたが亡くなった際の「お葬式費用」の希望は？



もしあなたが亡くなった際、どの様な「お葬式」を望みますか？



葬式専門業者一覧

大手チェーン	葬式・告別式に関する情報が豊富で、様々なプランを持ち、最新のニーズにも対応してくれる事が多い反面、比較的料金が高めな事がある。
地元密着の業者	地元に着信信頼の高い業者ならば、地域の慣習に詳しく近隣の情報も豊富にある。料金・サービスも比較的信頼出来るが、新しい形の葬式等に対して消極的な傾向がある。
JA(農業共同組合)	全国各地のJA(農業共同組合)が行っている葬祭事業。利益追求ではなく、基本的に組合員の為のサービスなので比較的安価な事が多い。又、料金体系が明瞭なのも魅力の一つ。非組合員でも利用可能だが、組合員だと若干の割引がある。
生協(生活協同組合)	全国各地の生協(生活協同組合)が行っている葬祭事業。JAと同じく利益目的でない組合員の為のサービスなので、比較的安価かつ、料金体系も明瞭。依頼するには組合員になる必要はあるが、組合員へは安価で加入が可能。
自治体	地方自治体では、葬式サービスを行っている所もあり、区民葬・市民葬を割安で行える。営利目的ではないので、割安なサービスが可能。但し、サービスが画一的な所が多い事と、そもそも自治体によってはその制度がない事もある点には注意が必要。
大手スーパー系	大手スーパー等が窓口となり、明瞭な料金体系でサービスを提供する。急な出費となる葬式の特性に対応し、カード支払いが可能な会社もある。但し、葬式自体は大手スーパーと提携する各地域の葬儀社が行う為、そこで式の品質に差が出る事がある。
冠婚葬祭互助会	加入者が毎月一定の金額を積み立てて、いざという時、互助会の施設・サービスを利用する制度。急場の金銭的負担が減らす事が出来、又満期になると自由に使える。但し、満期の金額でも、実費を含めると金額が足りなくなるケースも多い。

「こいつ業者は」

- ×「葬儀式」の内容・明細がはっきりしない
- ×グレードアップを必要以上に勧めてくる
- ×問い合わせ時や遺体の搬送時に「葬儀の準備を急がないと」等、急かす業者

◎「納棺してから搬送」は棺を売りつける為なので注意!

